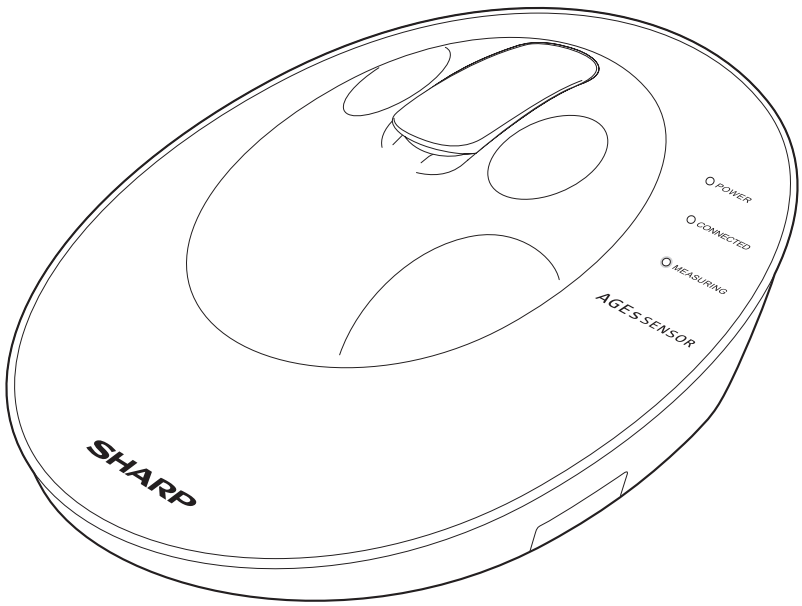
SHARP

形名 : RQ-1201J

AGEs センサ ソフトウェア（店舗向け）

操作ガイド



目次

はじめに **3**
- AGEs（エージーイー）とは 3
- 測定原理について 3
- この製品の特長 3
- 本書に関する注意事項 3

測定の準備 **4**
- 測定環境について 4
- 静電気の除電について 4
- 装置の保管、輸送環境について 4
- 正確に測定いただくために
  ～日焼け止め、蛍光成分の除去、水分等の乾燥について～ 5
- 同じ人が連続測定をおこなう場合 5
- 定期的な性能チェックについて 5
- 測定するときの姿勢、指の挿入方法について 5
- 測定に適さない方 7

測定する **8**
- 本体とソフトウェアを起動する 8
- ソフトウェアを終了する 9
- 測定する 9
- 測定レシートのみかた 11
- 測定結果画面のみかた 12

管理者画面について **13**
- 管理者画面を表示する 13
- 接続機器画面について 14
- レシート画面について 15
- オプションとパスワード画面について 16
- センサ情報画面について 17

こんなときには **18**
- 困ったときは 18
- 性能チェックについて 20
- 日常のお手入れ 21

付録 **23**
- 商標について 23
- ソフトウェア仕様 23

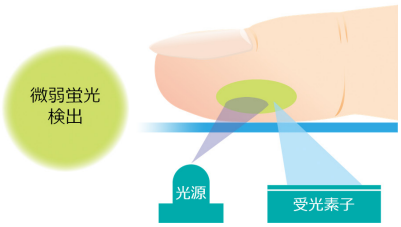
はじめに

本書は、AGEs センサを活用するための店舗向けソフトウェアを使った測定方法や設定方法、お手入れのしかたなどの使用方法全般について説明しています。

AGEs(エージーイー)とは

糖とタンパク質が結合してできる物質で、最終糖化産物 (Advanced Glycation Endproducts) と呼ばれています。ヒトの体内でも、過剰に摂取した糖とからだの中の様々なたんぱく質が結びつくことで生成されており、ヒトの加齢現象や健康に関わる物質と言われています。ヒトのカラダを主に構成しているのがタンパク質であり、肌・血管・骨なども主にタンパク質からできています。タンパク質は、AGEs に変化すると本来の機能を発揮できなくなります。このため、体内に AGEs が増加するとからだの機能に様々な変化が生じます。
AGEs には「架橋形成」「褐色性」といった性質があり、たとえば、皮膚中の AGEs が増加すると、皮膚を形成するタンパク質であるコラーゲンどうしを強く結びつけてしまうため、皮膚の弾力性が低下し、しわ・たるみ・くすみの原因となります。
また医学分野でも AGEs に関する様々な研究が進んでおり、機能が低下した身体の部位（血管、骨、目、脳など）には AGEs が多く蓄積していることや、部位（肌、目、骨など）によっては悪影響を与えることも報告されています。

測定原理について



AGEs のなかには、特定の励起光を照射すると蛍光を放つ性質を持っているものがあります。この製品は、この性質を利用して AGEs を測定します。
測定部に挿入された指尖に、励起光を光源からレンズを通して照射することで、指尖から特殊な光（皮膚蛍光）を取得することができます。この特殊な光の量は、研究機関の血液分析により、体内をくまなく巡っている血液中の MG-H1※（AGEs の一種）との相関が確認されており、間接的にカラダの中に存在する AGEs を測定できます。指尖には、皮膚蛍光を測定する場合に問題となるメラニンがほとんど含まれないことから、肌の色や日焼けの影響が低い測定が可能です。
※ MG-H1：*Nδ*-(5-hydro-5-methyl-4-imidazolone-2-yl)-ornithine

この製品の特長

測定者にやさしい光センシング測定
測定には血液採取が不要で、注射針で刺されるような痛みがないため、心理的負担や身体的負担が少なく老若男女問わず簡単に測定いただけます。

測定精度と繰り返し再現性を高める指先測定
指先の内側面にはメラニン蓄積がほとんどないため、日焼けなどの肌の色による影響を低減することができます。また、さらに測定精度と繰り返し再現性を高めるため、測定時に指先を装置のクリップ部に固定する手法を採用しています。

測定者の負担を和らげる迅速※測定
独自の光センシング技術と回路技術により、わずか数十秒の迅速な※測定が可能です。
※ 血液採取によって測定した場合との比較

本書に関する注意事項

- 本書の内容の一部または全部を無断で転載することを禁止します。
- 本書に記載している装置の形状や画面などは、実際の装置とは異なる場合があります。

この製品は医療機器ではありません。
この製品で測定した結果を治療、診断などの医療行為に用いることはできませんので、測定結果に関係なく病気などの不安がある場合には医師の診察を受けてください。

測定の準備

ここでは、この製品を使って AGEs を測定する際の注意事項について説明します。
本製品は、極めて微弱な光を検出する測定器ですので、静電気や周囲からの光、温度、汚れなどの影響を非常に受けやすく測定環境や測定方法によっては、故障の原因となったり、正確に測定できないことがあります。以下の注意事項をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

測定環境について

本製品に対して、周囲から極端に定常的および瞬間的に強い光を受けたり、定常的に装置への光照射強度が変動している環境では、お使いいただけません。
以下のことに注意してお使いください。

- 直射日光が装置にあたらない屋内でお使いください。
- 日光が直接あたらない場合でも、屋内の窓際、スポットライト下、卓上スタンドを極めて近接させるなど、装置への照射強度が高い (5,000 lx 以上) 環境下ではお使いいただけません。
- 切れかけの蛍光灯下やフラッシュ光が照射される環境など、5,000 lx 以下の環境下でも、測定中に装置への照射光強度が変動する環境下では、正確に測定いただけません。
- 振動していたり、粉塵や水等が降りかかる環境下ではお使いいただけません。故障の原因になります。

静電気の除電について

測定者の指が帯電している場合には、本製品が誤作動を起こすことがあります。本製品を使用する場合には、除電対策をしっかりとおこなってください。

- 帯電した状態で本製品を扱ったり、測定したりしないでください。

＜簡単にできる除電対策＞

- 本製品を扱う前に手を洗い、少し湿った布（タオルなど）でふき取ってください。
  また、金属質のものに触れて、静電気を逃してください。
- 静電気の発生を抑えるために、次の点もご注意ください。
  ① 静電気を起こしやすい素材を避ける
  本製品と机、人と衣服など、物質同士が接触すると、摩擦によって静電気が発生します。カーペットや毛並みの立った布など、帯電しやすい素材の上で、本製品を使わないようにしてください。とくに、マイナスに帯電しやすい素材（アクリル、ポリエステルなど）と、プラスに帯電しやすい素材（ナイロン、ウールなど）の組み合わせで、強力な静電気が発生する可能性があります。
  ② 室内の湿度を適度に保つ
  冬季は、外の空気が乾燥しています。また、暖房によって、室内も乾燥してしまいます。空気が乾燥していると、静電気が発生しやすくなります。本製品を使うときは、室内（周囲）の湿度を適度に保ってください。なお、本製品が動作する湿度は、30 ～ 85% RH ですが、静電気の発生率を抑えるためには、50% RH 以上の湿度を保つことをお勧めします。

装置の保管、輸送環境について

- 装置の保管および輸送時の温湿度範囲は、-10℃～ 55℃、30%～ 95% RH です。
- 結露が発生した場合には、測定精度に影響を及ぼすため、すぐにお使いにならず、室温程度の環境で３時間程度放置したあと、お使いください。
- 結露がひどい場合には、１日以上放置して、十分乾燥させてからお使いください。
- 精密機器のため、急激な温度変化の直後に測定すると測定が不安定になることがあります。急激な温度変化を避けてお使いください。本製品が急激な温度変化に曝された場合は、測定前に１時間を目安に十分時間が経過したあとでお使いください。

正確に測定いただくために　～日焼け止め、蛍光成分の除去、水分等の乾燥について～

- 指先や測定部が汚れている場合は、正確に測定いただけません。汚れ等の除去をおこなってから測定してください。
- **指先に日焼け止めやハンドクリームなどの成分や多量の油脂が残っている場合、正確に測定いただけません。**
- ウェットティッシュに蛍光成分や日焼け止め成分が入っている場合も残留物が測定値に影響を与えることがあります。お使いになる前にウェットティッシュの成分をご確認ください。
- 油脂などは、ウェットティッシュ等で除去できる場合がありますが、日焼け止めやハンドクリームの成分は、ウェットティッシュ等で除去しきれない場合があります。**ウェットティッシュ等で除去しきれない可能性のある場合は、測定前に、手を洗剤などで洗浄してから測定するようにしてください。**
- ウェットティッシュのご使用後や手を洗浄したあとなど、指先に水分やアルコールなどが残っている場合には、正確に測定いただけないことがあります。30 秒～ 1 分程度放置し、十分乾燥させたあと、測定をおこなってください。

同じ人が連続測定をおこなう場合

- 測定時に指先を強くおさえるため、皮膚表面が変形している場合があります。**1 分以上間隔を空けて測定をしてください。**

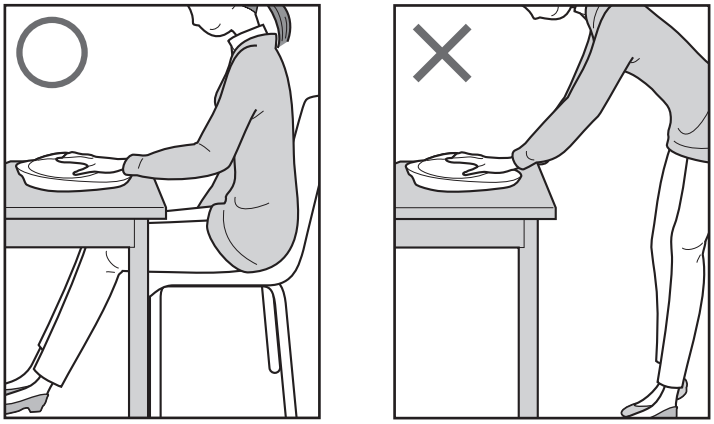
定期的な性能チェックについて

- 長期間にわたり、正確な測定をおこなうため、 1 週間程度を目安に、性能チェックをおこなってください。

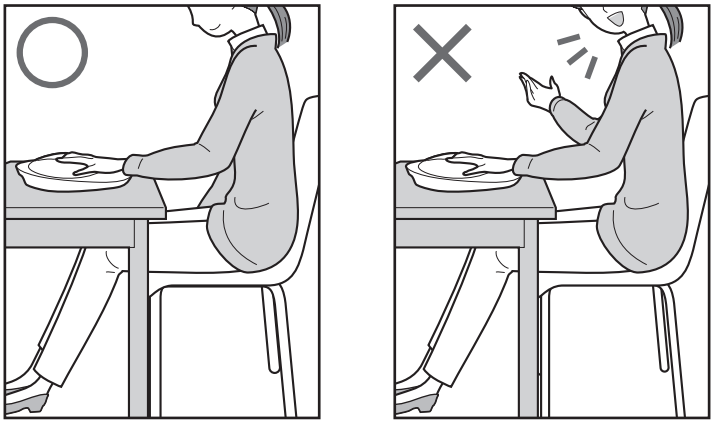
測定するときの姿勢、指の挿入方法について

本製品は、微弱な光を検知する測定器であり、わずかな振動および測定中の指の動きによって影響を受けます。
振動が生じていたり、指が動いていたりすると正確に測定いただけません。
測定するときは、以下のことに注意して、リラックスした状態で左手中指を挿入してください。

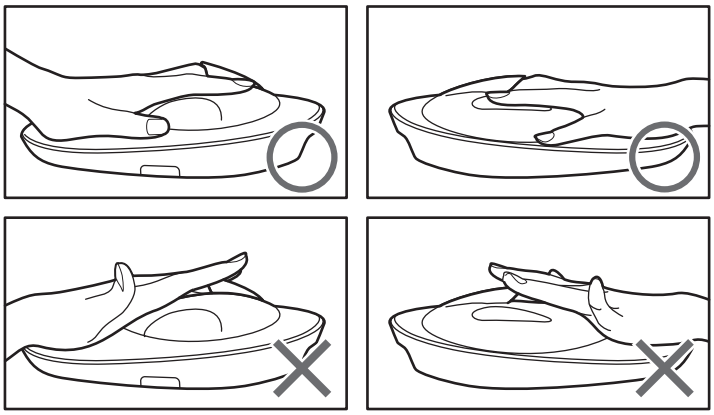
（A）座って測定すること



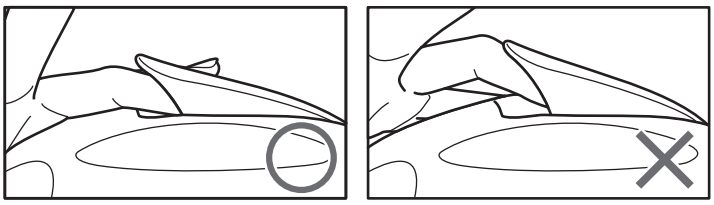
（B）測定中は、会話しないこと



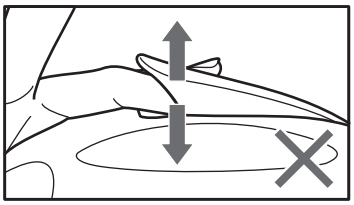
（C）人差し指、薬指が浮いたままにならないようにする



（D）中指が浮かないようにする

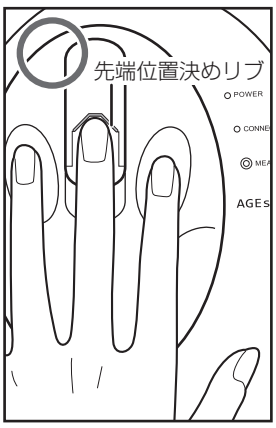


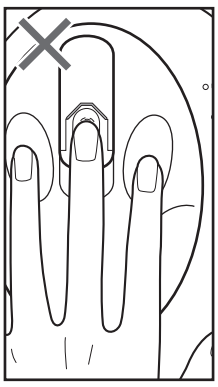
（E）中指を押しつけないこと、逆に上に力を入れない



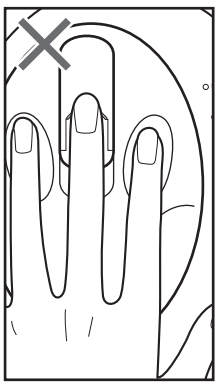
（F）指先が先端位置決めリブに軽く当たる程度までまっすぐに挿入する

※指をリブに強く押し付け過ぎないように注意してください。

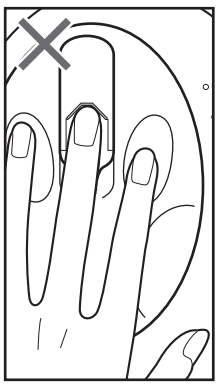


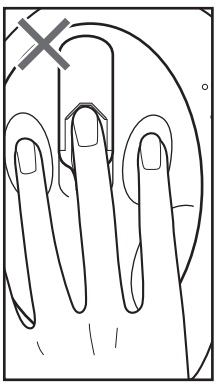


途中までしか挿入していない。



先端位置決めリブに指を乗り上げる。





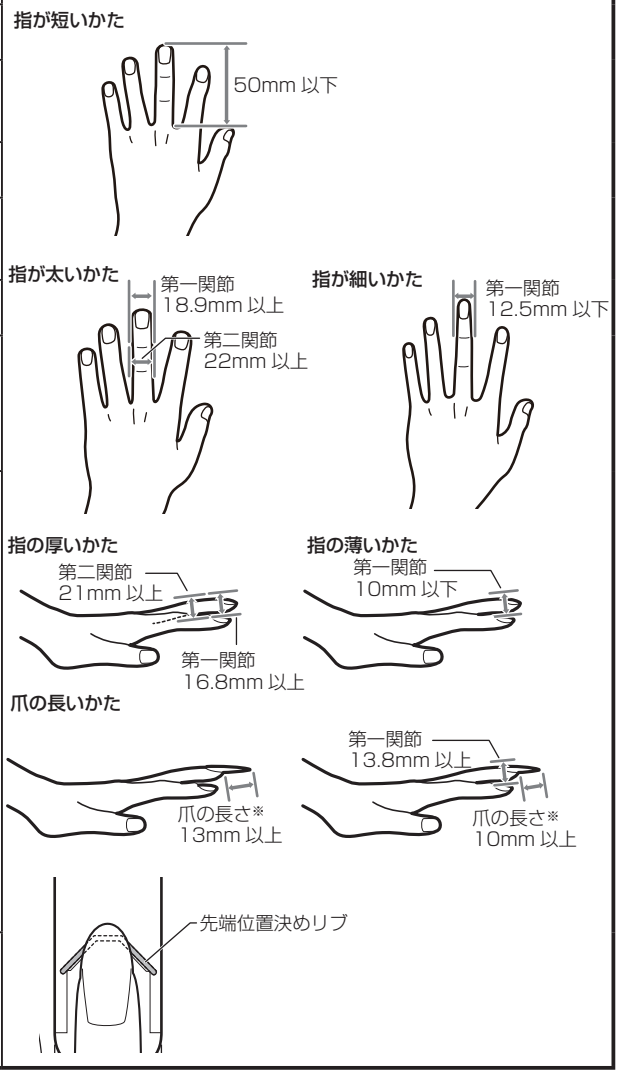
斜めから指を挿入する。

測定に適さない方

以下の条件に当てはまるかたは、正しく測定できない可能性があります。

- 光過敏症の既往のあるかたは光の照射によって、疾患を起こすおそれがありますので、測定は控えてください。
- 測定する指の皮膚表面に汚れや傷、ささくれがあると正しく測定できません。指の汚れをとって測定してください。傷、ささくれがあるときは、人差し指や右手中指等に換えて測定してください。
- 継続的に測定をおこない測定結果の変化を確認する場合は、測定する指を換えると測定再現性が得られない場合があります。同じ指で測定するようにしてください。
- 測定可能な指は人差し指、中指、薬指です。指の挿入時の安定性や再現性の面から①左手中指、②左手人差し指、③左手薬指、④右手中指、⑤右手人差し指、⑥右手薬指の順に候補を選択してください。
- 小指や親指は、装置の構造上、正しく測定いただけません。

条件	理由
血液の病気にかかっているかた	血液の病気にかかっているかたは正しく測定できない可能性があります。
指に絆創膏などを貼っているかた	光の透過が妨げられるため、正しく測定できません。
• 乳幼児	測定部に指を正しく挿入できないため、測定できません。
• 指が短いかた 指の付け根から指先までの長さが 50mm 以下	
• 指が太いかた 指の第一関節より先の太さが 18.9mm 以上 または指の第二関節が 22mm 以上	
• 指が細いかた 指の第一関節の太さが 12.5mm 以下	
• 指が厚いかた 指の第一関節より先の厚さが 16.8mm 以上 または指の第二関節が 21mm 以上	
• 指が薄いかた 指の第一関節より先の厚さが 10mm 以下	
• 爪が長いかた 爪の長さ※が 13mm 以上 または爪の長さが 10mm 以上かつ、指の第一関節の厚みが 13.8mm 以上 ※ 爪の長さは、指先端からの飛び出し量	
• 爪が測定部の奥にある先端位置決めリブに乗っかってしまい、測定部に指が十分に押さえつけられないかた	
• つけ爪や長い爪用の空間を設ける設計をしていますが、爪の形状や指の厚みによっては、爪に負担がかかり、つけ爪等の装飾物がはがれる可能性があります。つけ爪をされている場合は、慎重に測定し、爪に強い力がかかる場合は、無理に測定せず、使用を避けてください。	



測定する

本体とソフトウェアを起動する

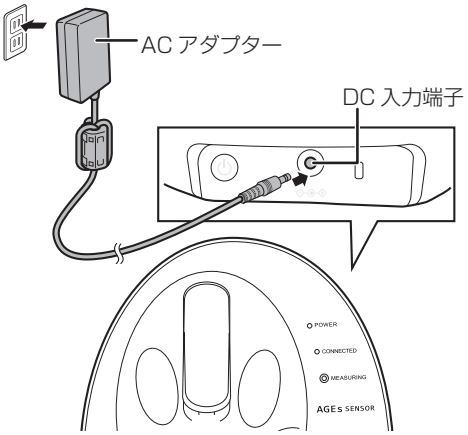
本体の電源を入れてソフトウェアを起動すると、測定準備画面が表示されます。

- この製品とソフトウェアを起動する前に、本体と付属のタブレットが接続されていることを確認してください。接続のしかたについては、セットアップガイドを参照してください。

1 本体の電源を入れる

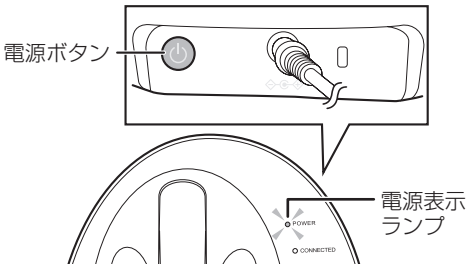
(1) ACアダプターを本体のDC入力端子に接続してから、コンセントに差し込む

ACアダプターは、必ず本体に付属のものをお使いください。



(2) 電源ボタンを長押し(1秒程度)する

(3) 電源表示ランプが点灯したことを確認する



2 ソフトウェアを起動する

(1) タブレットのデスクトップにある、AGEsをダブルタップする

(2) ポートを選択し、[接続する]ボタンをタップする

本体とタブレットがペアリングされており、本体の電源が入っていると、ポートが検知されます。

接続に成功すると、ボタンの右横にチェックマークが表示され、本体の接続表示ランプが青色に点灯します。

スタート画面が表示されます。

- 性能チェック画面が表示されたら、本体の性能チェックをおこなってください。性能チェックについては、「性能チェックについて」(20 ページ)を参照してください。なお、性能チェックは管理者がおこなってください。

ソフトウェアを終了する

ソフトウェアを終了する場合は、以下の手順をおこなってください。

1 スタート画面の左上、左下を同時にタップする

ソフトウェア終了の確認画面が表示されます。

2 [はい]ボタンをタップする

アプリが終了します。

測定する

画面に表示される指示に従って測定をおこなってください。

- 正確な測定をおこなうために、**4ページの「測定の準備」に記載の注意事項**をよくお読みになり、記載内容を守って正しくお使いください。

1 [はじめる]ボタンをタップして、測定を開始する

2 測定レシートの有無を確認する

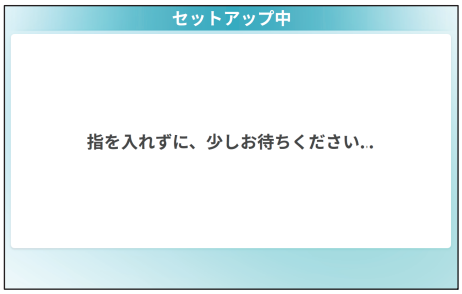
(1) [測定レシートをお持ちの方]ボタンまたは、[測定レシートをお持ちでない方]ボタンをタップする

- 初めて測定する場合は、[測定レシートをお持ちでない方]ボタンをタップしてください。
- 測定レシートをお持ちの場合は、[測定レシートをお持ちの方]ボタンをタップして、測定レシートをQRコードリーダーで読み取ります。
- QRコードリーダーを接続を有効にしていない場合はこの画面は表示されません。手順3に進んでください。QRコードリーダーの設定方法については、13ページの「管理者画面について」をご確認ください。

(2) 性別をタップし、年齢を入力して、[決定]ボタンをタップする

手順(1)で測定レシートを読み込んだ場合は、読み込んだユーザー情報が表示されます。

[決定]ボタンをタップすると、測定の準備を開始します。測定の準備が完了するまで、測定部に指を入れないでください。



3 測定する

(1) 「指を入れてください。」と表示されたら、測定部に指を挿入する

右手で指クリップ部を開け、左手の中指の先端が先端位置決めリブに軽く接触するまで挿入し、指クリップ部を閉じます。

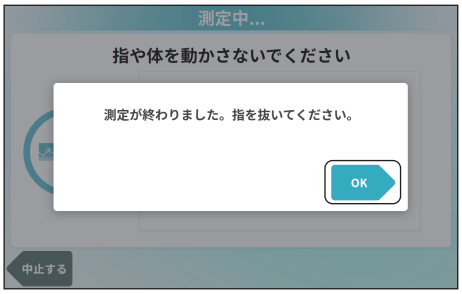
- 指を先端位置決めリブに強く押し付け過ぎないように注意してください。

(2) 測定する

センサが指を検知すると自動で測定が始まります。
測定中は、以下のことに注意してください。

- 指や体を動かさない。
- 会話をしながら測定しない。
- 人差し指や薬指が本体から浮いた状態で測定しない。
- 測定している中指が浮いた状態で測定しない。
- 測定部に強く指を押しつけない、逆に測定部から指を離さない。
- 斜めに中指を入れない。

(3) 測定が終わったら、指を抜いて、[OK]ボタンをタップする



4 測定結果を確認する

測定結果は、結果、履歴、AGEsグラフ、アドバイスの4つの画面で構成されます。各画面の詳細については12ページの「測定結果画面のみかた」を参照してください。

5 測定を終了する

- 測定結果をプリントする場合は、次の手順へ進んでください。
- 測定結果をプリントしない場合は、[中止する]ボタンをタップし、スタート画面に戻ります。

6 測定結果画面で、[プリント]ボタンをタップする

測定レシートの印刷が開始されます。
測定レシートにあるQRコードは、お客様の測定履歴の情報が記録されています。
レシートプリンターの設定を有効にしていない場合は、[次へ]ボタンが表示されます。

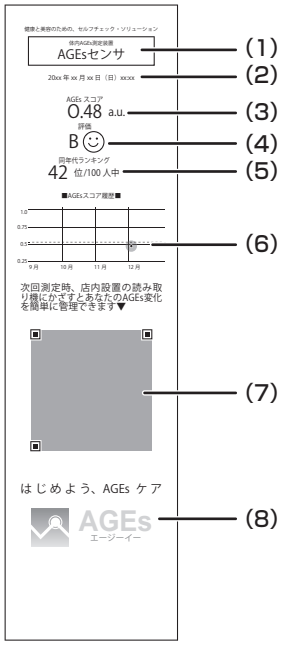
7 印刷が終了すると、終了画面が表示されます。

[終了する]ボタンをタップするか表示された時間が経過するとスタート画面に戻ります。

- 測定終了後、測定データは、タブレット内には蓄積されず完全に消失します。測定終了後、測定データを呼び戻すことはできません。測定データは印刷される QR コード内にのみ記録されます。
- 「これまでの測定回数」は、レシートの QR コードに記録された総測定回数が表示されます。

測定レシートのみかた

測定レシートには以下の情報が印刷されています。



(1)、(8) ロゴおよび広告貼り付けエリア

設定方法については、15 ページの「レシート画面について」をお読みください。

(2) 測定日時

測定した年月日、曜日、時分を表示します。

(3) AGEs スコア

指先の皮膚蛍光値の大小を表します。AGEs が多いと AGEs スコアが高くなり、AGEs が少ないと AGEs スコアが低く表示されます。

(4) 評価

AGEs のスコアに応じて５段階（A～E）の評価が表示されます。AGEs が少ないと「A」、AGEs が多いと「E」の表示になります。

(5) 同年代ランキング

同年代の中での、ランキングの予測値が表示されます。臨床研究で収集したデータベースを用いているため、本製品で収集したデータがデータベースに反映されるわけではありません。

(6) AGEs スコア履歴

今までの AGEs スコアの測定記録をグラフとして表示します。

(7) QR コード

今までの測定記録を QR コードに記録します。最大 20 回まで記録することができます。

※ この QR コードは、暗号化処理を施しているため、本製品のアプリケーションおよび関連アプリケーション以外から読み取ることはできません。

測定結果画面のみかた

測定結果画面は画面右側のタブを押すことで、結果、履歴、AGEs グラフおよびアドバイスの画面に切り替えることができます。
各画面で確認できる内容は次のとおりです。

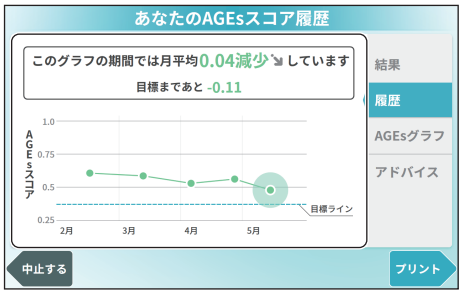
結果

今回の AGEs スコアや AGEs スコアトレンド(増減)※、同年代ランキングなどを表示します。

※増減表示については、総測定回数３回以上かつ測定期間６日以上の条件下で表示されます。また、統計処理により算出をおこなうため、数%の変動の場合には、「増加」および「減少」の表示がされず、「ほぼ増減なし」と表示される場合があります。

履歴

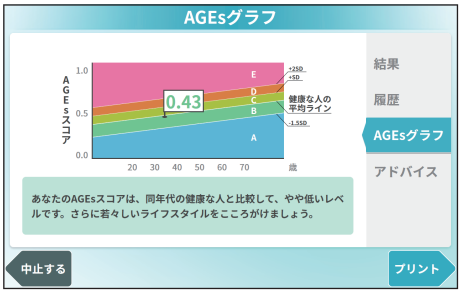
QR コードに記録されている測定履歴のうち、過去３か月分と当月のスコアプロットを折れ線グラフで表示します。
表示される測定回数は 20 回までです。



※目標ラインは、評価 A/B の境界を表しています。

AGEs グラフ

年齢と AGEs スコアのグラフに今回の AGEs スコアをプロットして表示します。



※健康な人の平均ラインは、独自に、臨床研究で収集したデータから、一般的な健康診断検査項目が基準内に入っているかたを抽出した場合の AGEs スコア平均ラインを表します。SD は、標準偏差(Standard Deviation）を表し、算出に用いた母集団は、一般的な人間ドックに来院する方の全体のデータです。すべての年齢で同一の正規分布をもつと仮定した場合には、A の領域に 6.7%、B の領域に 43.3%、C の領域に 34.1%、D の領域に 13.6%、E の領域に 2.3% のかたが入る分布となります。

アドバイス

運動、果物、お酒とたばこ、生活リズム、食べ物、食習慣に関するアドバイスを表示します。

※アドバイス内容については、東海大学 永井竜児先生の監修をもとに作成しています。(2017年６月時点)

管理者画面について

この製品の設定をおこなったり、この製品の情報を確認したりすることができます。

- この操作をおこなうには管理者パスワードが必要です。管理者パスワードの初期値は「0000」です。
- この製品を設置したあと、管理者パスワードを変更してください。
- パスワードは管理者が外部に漏れないよう、厳密に管理してください。
- 新たに設定したパスワードは忘れないようにしてください。パスワードを忘れてしまった場合、パスワードを確認する方法はありません。また、管理者権限が必要な設定や機能を使用することができなくなります。

管理者画面を表示する

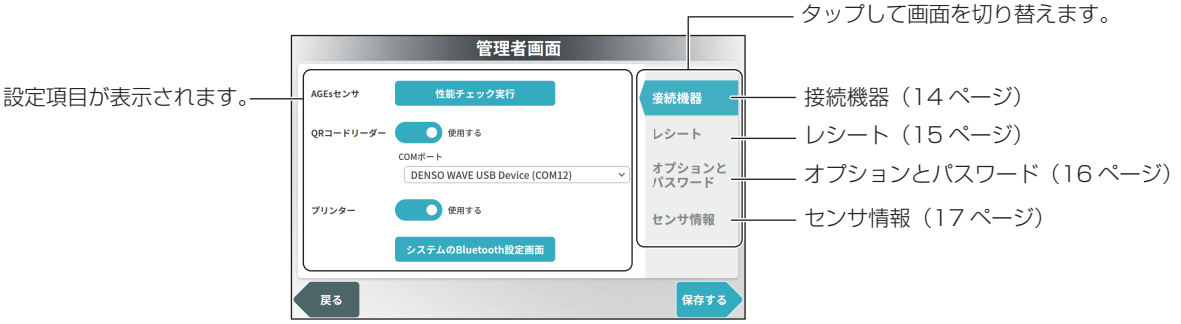
1 スタート画面の四隅を左上、右上、右下、左下の順にタップする

管理者パスワード入力画面が表示されます。

2 管理者パスワードを入力して[ログイン]ボタンをタップする

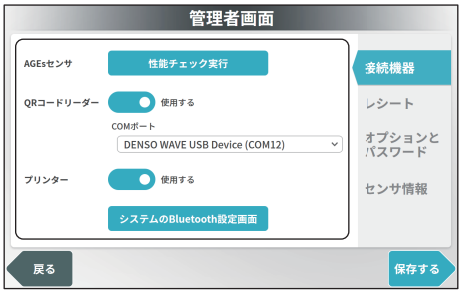
管理者画面が表示されます。

管理者画面は、接続機器、レシート、オプションとパスワード、センサ情報の４つの画面で構成されています。画面右のタブをタップすることで画面を切り替えます。



接続機器画面について

性能チェックを実行したり、この製品に接続している周辺機器についての設定をおこないます。



設定できる項目は次のとおりです。

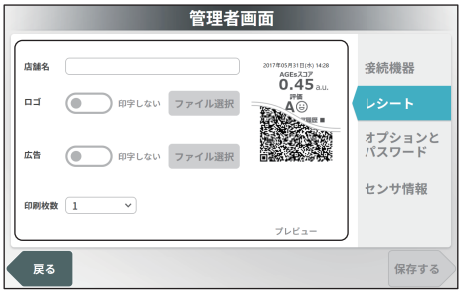
AGEs センサ	［性能チェック実行］ボタンをタップすると、性能チェック実行画面が表示されます。詳しくは 20 ページの「性能チェックについて」をご覧ください。
QR コードリーダー	QR コードリーダーをお使いになる場合は、をタップして［使用する］に設定し、「COM ポート」から QR コードリーダーが接続されているポート※を選択してください。QR コードリーダーの接続されているポートが表示されない場合は、QR コードリーダーの USB ケーブルをタブレットにもう一度挿しなおしたり、別のポートに接続するなどして、正しく接続が認識されているか確認してください。
プリンター	レシートプリンターを使用する場合は、をタップして [使用する] に設定してください。
システムの Bluetooth 設定画面	タブレット本体のシステムの Bluetooth 設定画面に切り替わります。 Bluetooth の設定方法については、付属のセットアップガイドをご覧ください。

※ COM ポートの表示は、標準の接続状態の場合「DENSO WAVE USB DEVICE（COMxx)」と表示されます。

設定後は［保存する］ボタンをタップしてください。

レシート画面について

測定レシートに印字する内容を設定します。



設定できる項目は次のとおりです。

店舗名	店舗名を設定します。（最大 19 文字）
ロゴ	測定レシートの一番上に印字するロゴに関する設定をおこないます。 印字する場合は、をタップして［印字する］に設定し、［ファイル選択］ボタンをタップして、印字するロゴを選択してください。使用できる画像のサイズ及びファイル形式は次のとおりです。 画像サイズ：横 400dot ※ ファイル形式（静止画のみ）：jpeg、gif、png、bmp
広告	測定レシートの一番下に印字する広告画像に関する設定をおこないます。 印字する場合は、をタップして［印字する］に設定し、［ファイル選択］ボタンをタップして、印字する広告画像を選択してください。使用できる画像のサイズ及びファイル形式は次のとおりです。 画像サイズ：横 400dot ※ ファイル形式（静止画のみ）：jpeg、gif、png、bmp
印刷枚数	測定後に [プリント] ボタンをタップして印刷される測定レシートの印刷枚数を設定します。設定値は［1］または［2］です。
プレビュー	各項目で指定した内容をプレビュー表示します。

※ 画像サイズに応じて、自動的に拡大縮小されて印字します。

設定後は［保存する］ボタンをタップしてください。

オプションとパスワード画面について

スタート画面やアドバイス、広告を表示するかどうかや管理者パスワードを設定します。

設定できる項目は次のとおりです。

待受	スタート画面の画像を店舗情報などに変更できます。 表示する場合は、 をタップして［設定する］に設定し、［ファイル選択］ボタンをタップして表示する画像を選択してください。使用できる画像のサイズ及びファイル形式は次のとおりです。 画像サイズ：横 790dot ×縦 444dot※1 ファイル形式： ・動画：動画 gif、mp4（Windows10 標準コーデックのみ対応） ・静止画：jpeg、gif、png、bmp
測定中	測定中画面に画像を表示するかどうかを設定します。 表示する場合は、 をタップして［設定する］に設定し、［ファイル選択］ボタンをタップして表示する画像を選択してください。使用できる画像のサイズ及びファイル形式は次のとおりです。 画像サイズ：横 790dot ×縦 444dot※1 ファイル形式： ・動画：動画 gif、mp4（Windows10 標準コーデックのみ対応）※2 ・静止画：jpeg、gif、png、bmp
広告	終了画面に広告を表示するかどうかを設定します。 表示する場合は、 をタップして［設定する］に設定し、［ファイル選択］ボタンをタップして表示する画像を選択してください。使用できる画像のサイズ及びファイル形式は次のとおりです。 画像サイズ：横 700dot ×縦 394dot※3 ファイル形式（静止画のみ）：jpeg、gif、png、bmp
管理者パスワード	管理者パスワード（半角数字 4 桁）を変更します。 ［変更する］ボタンをタップし、「現在のパスワード」、「新しいパスワード」、「新しいパスワード（確認）」を入力し、［変更する］ボタンをタップしてください。

※1 左上詰めで表示されます。画像サイズが大きい動画の場合のみ、縦横比を維持して自動的に縮小します。それ以外の画像の場合は、拡大縮小表示はされません。
※2 動画のフレームレートは 10fps 以下を推奨します。
※3 左上詰めで表示されます。拡大縮小表示はされません。

設定後は［保存する］ボタンをタップしてください。

センサ情報画面について

この製品のソフトウェアやファームウェアなどの情報を確認します。

確認できる項目は次のとおりです。

ソフトウェアバージョン	ソフトウェアのバージョンを表示します。
ファームウェアバージョン	この製品のファームウェアのバージョンを表示します。
AGEs センサ製造番号	この製品の製造番号を表示します。
性能チェック実行回数	性能チェックをおこなった回数が表示されます。
LED 点灯時間	LED が点灯した時間を表示します。
測定回数（年月日）	当日の測定回数を、男性 / 女性別に表示します。

こんなときには

困ったときは

特定のエラーが発生すると、メッセージ表示部にエラーメッセージが表示されます。
エラーが発生したときは、以下に記載している原因と対処方法を参照してください。問題が解決されないときは、購入元または弊社お客様ご相談窓口に連絡してください。

エラー番号	エラーメッセージ	対処方法
ERROR 0001	入力されたライセンス番号もしくは製造番号に誤りがあります。	ライセンス番号と製造番号をもう一度確認して、正しいライセンス番号と製造番号を入力してください。
ERROR 0002	製造番号 XXXXXXXX のセンサが見つかりません。	電源ケーブルが抜けていないか確認し、抜けている場合は正しく接続してください。 電源ボタンがオフになっていないか確認し、オフならオンにしてください。 タブレット本体の Bluetooth 接続設定がオフになっていないかを確認し、オフならオンにしてください。 Bluetooth のペアリングがはずれていないかを確認し、ペアリングがはずれている場合はペアリングをし直してください。
ERROR 0003	センサからの応答がありません。	電源ボタンがオフになっていないか、タブレット本体の Bluetooth 接続設定がオフになっていないか確認し、いずれもオフならオンにしてください。 オンした後、「接続する」ボタンをもう一度押してください。
ERROR 0005	性能チェックに失敗しました。プレートの配置 / 汚れ / 劣化などをご確認ください。	チェックプレートの配置がずれていないかをもう一度確認し、ずれている場合は正しい位置に置き直し、再度性能チェックを実行してください。 また、ほこりや汚れがついていれば清潔な綿棒等で本体の測定部を拭いてください。
ERROR 0007	測定環境が異常です。	適切な環境で測定してください。
ERROR 0008	測定に失敗しました。 測定中は指や体を動かさず、再度測定し直してください。	指や体の力を抜き、測定中は指や体を動かさないようにして、再度測定してください。
ERROR 0009	エラーが発生しました。再度測定し直してください。 エラーを繰り返す場合は、係員にご相談ください。	本体の電源をオフにして、電源コンセントを差しなおしてください。
ERROR 0010	指が抜かれました。 測定中は指を抜かずに、再度測定し直してください。	「測定が終わりました」という表示が出るまで、指を抜かずに、測定してください。
ERROR 0011	測定を開始できません。	センサが故障している可能性があります。お客様ご相談窓口に連絡してください。
ERROR 0012	ファイルが異常です。	選択しているファイルが存在していないか、サポートしていないデータファイルか、ファイルのデータが異常の場合が考えられます。 正常なファイルを選択し直してください。
ERROR 0015	正しく読み取れませんでした。もう一度かざしてください。	QR コード表示のある面を QR コードリーダの読み取り面に近づけてください。近づけすぎたら一度離して再度近づけてください。レシートが汚れていたり、折り目があると、正しく読めない場合があります。
ERROR 0016	入力されたパスワードに誤りがあります。	正しいパスワードを入力してください。
ERROR 0017	現在のパスワードに誤りがあります。	正しいパスワードを入力してください。
ERROR 0018	新しいパスワードと新しいパスワード（確認）が異なります。	正しいパスワードを入力してください。
ERROR 0019	指を検知できません。 「指を入れてください」が表示されたら、速やかに指を入れてください。再度測定し直してください。	「指を入れてください」が表示されたら、速やかに指を入れてください。再測定し直してください。
ERROR 0020	周囲が明るすぎます。再度測定し直してください。 エラーを繰り返す場合は、係員にご相談ください。	適切な環境で測定してください。

エラー番号	エラーメッセージ	対処方法
ERROR 0021	QR コードリーダーに接続できません。 測定レシートを読み取りたい方は、終了して、 係員にご相談ください。	QR コードリーダーが、タブレット側の指定の USB ポートに接続されていることを確認してください。 正しい接続方法、設定方法については、セットアップガイドをご覧ください。
ERROR 0022	Bluetooth 接続が切れました。係員にご相談ください。	タブレットとセンサの距離を離さないで、近くに置いてお使いください。 タブレットの Bluetooth 設定がオンになっているか確認し、オフの場合オンにしてください。 周囲の無線 LAN や Bluetooth 等 2.4GHz 帯の電波状況や電子レンジ等の影響によって接続が切れる場合もあります。 また、センサの電源がオフになっていないか確認してください。
ERROR 0023	ケーブルが抜かれたか、電源ボタンが OFF になりました。	電源ケーブルが抜けていないか、電源ボタンがオフになっていないか確認し、正しく接続し電源ボタンをオンして、再接続をおこなってください。
ERROR 0024	測定値が異常です。指先や測定部に汚れやごみ等の付着物が無いことを確認して、再測定してください。改善しない場合は、係員にご相談ください。	指先や測定部に汚れやごみ等の付着物が無いことを確認して、再測定してください。
ERROR 0025	ファイルが選択されていません。	使用する／設定する場合には、必ずファイルを選択してください
ERROR 0026	この AGEs センサの機種は対象外のため使用できません。	機種に応じたソフトウェアを利用してください。

性能チェックについて

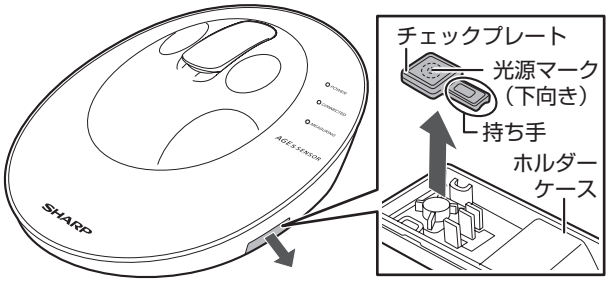
「性能チェックを７日間実行していません。実行してください。」と表示されたときは、性能チェックを実行してください。

• 正確な測定をおこなうために、１週間に１回を目安に性能チェックを定期的におこなってください。

測定準備画面から性能チェックをおこなう場合

1 **チェックプレートをホルダーケースから取り出す**

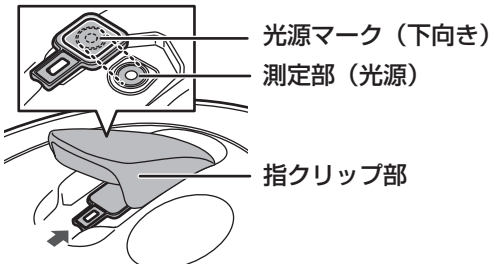
チェックプレートを取り出すときは、持ち手をつまんで持ち上げてください。持ち手以外の部分や光源マークに触れないようにご注意ください。



2 **本体の指クリップ部を開けてチェックプレートを挿入し、指クリップ部を閉じる**

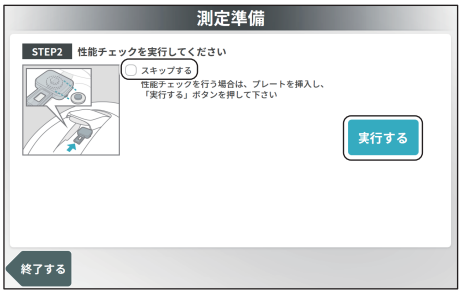
チェックプレートの光源マークを下向きにし、測定部にマークを合わせて挿入します。

• チェックプレートが浮いたり、ずれていると正確に測定できません。しっかりと測定部に固定されるよう挿入してください。
• チェックプレートおよび測定部には、凹凸があります。しっかり固定されるようにセットしてください。



3 **「スキップする」のチェックボックスにチェックが入っていないことを確認して、[実行する]ボタンをタップする**

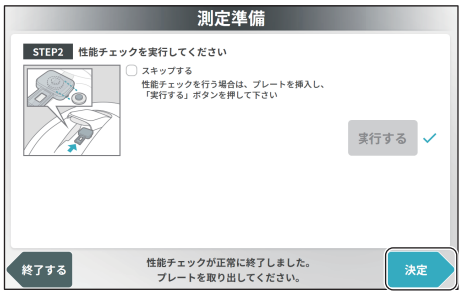
はじめて起動したときは、[スキップする]チェックボックスは選択できません。２回目以降、[スキップする]チェックボックスが選択できます。



性能チェックがおこなわれます。
性能チェックが正常に終了するとメッセージが表示され、[実行する]ボタン右横に✓が表示されます。

4 **チェックプレートをホルダーケースに戻す**

チェックプレートをホルダーケースに戻したあと、[決定]ボタンをタップします。スタート画面に切り替わります。



• チェックプレートでの測定が完了したら、すぐにホルダーケースに取り付け、本体に収納してください。長期間、日光などの紫外光にさらされると性能が劣化することがあります。

管理者画面から性能チェックを実行する場合

1 **スタート画面の四隅を左上、右上、右下、左下の順にタップする**

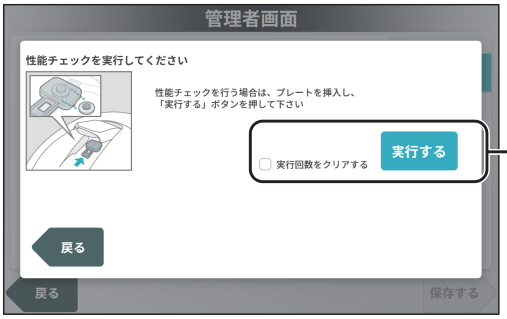
管理者パスワード入力画面が表示されます。

2 **管理者パスワードを入力して[ログイン]ボタンをタップする**

3 ［性能チェック実行］ボタンをタップする

4 「測定準備画面から性能チェックをおこなう場合」の手順 **1**、**2** をおこなう

5 ［実行する］ボタンをタップし、性能チェックをおこなう



今まで実行したチェックの回数をクリアしたい場合は、「実行回数をクリアする」のチェックボックスをタップしてチェックを入れてください。
性能チェックが完了すると、「性能チェックが正常に終了しました。」と表示され、［実行する］ボタンの右横に✓が表示されます。

6 **チェックプレートをホルダーケースに戻す**
チェックプレートをホルダーケースに戻したあと、［戻る］ボタンをタップします。管理者画面に切り替わります。

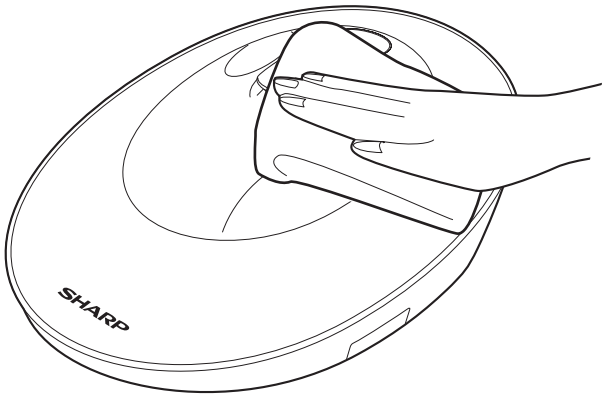
日常のお手入れ

この製品の清掃方法について説明します。

- お手入れをするときは、必ず本体の電源を切り、ＡＣアダプターを電源コンセントから抜いてください。
- 薬品（ベンゼン、シンナーなど）は使わないでください。故障、変色の原因となります。
- 硬いものや鋭利なものでこすったり、測定部へ挿入したりしないでください。傷がつき、正確な測定ができなくなり、故障の原因となります。
- 測定を繰り返すと、測定部が変色することがありますが、測定結果や人体への影響はありません。

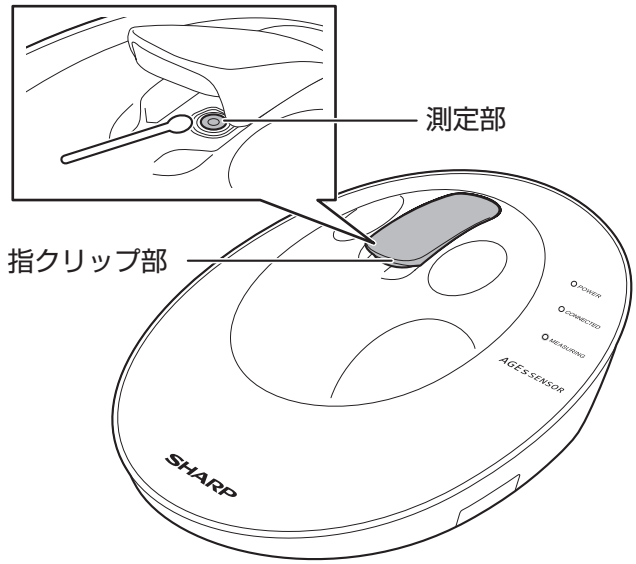
外装の清掃

ホコリや汚れがついた場合は、市販のクリーニングクロスやメガネ拭き等の乾いた柔らかい布で拭き取ってください。



測定部の清掃

ホコリや汚れがついた場合は、指クリップ部を開けて、乾いた綿棒で拭き取ってください。



保護フィルムについて

本体の透明パネル表面には、傷や汚れ防止のために、保護フィルムを張り付けています。

付録

商標について

- Microsoft®、Windows®、Windows® 10 および Internet Explorer® は、米国 Microsoft Corporation の、米国、日本およびその他の国における登録商標または商標です。
- Intel® は、Intel 社の米国及び他の国々における商標です。
- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Adobe PDF ロゴおよび Reader は、Adobe Systems Incorporated（アドビ システムズ社）の商標です。
- Bluetooth は、米国 Bluetooth Sig, Inc. の登録商標であり、シャープライフサイエンス株式会社はライセンスにもとづき使用しています。
- その他、本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- ソフトウェアのインストールおよびインストール後の設定をおこなうには、管理者権限が必要です。

ソフトウェア仕様

名称 / 形名	AGEs センサ ソフトウェア（店舗向け）RQ-1201J
記録方式	QR コード（印刷レシート内）
記録件数	20 件

シャープライフサイエンス株式会社

本　　社　〒650-0047　兵庫県神戸市中央区港島南町7丁目1番16号
マーケティング統轄部　営業部　〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1丁目9番2号 シャープ幕張ビル